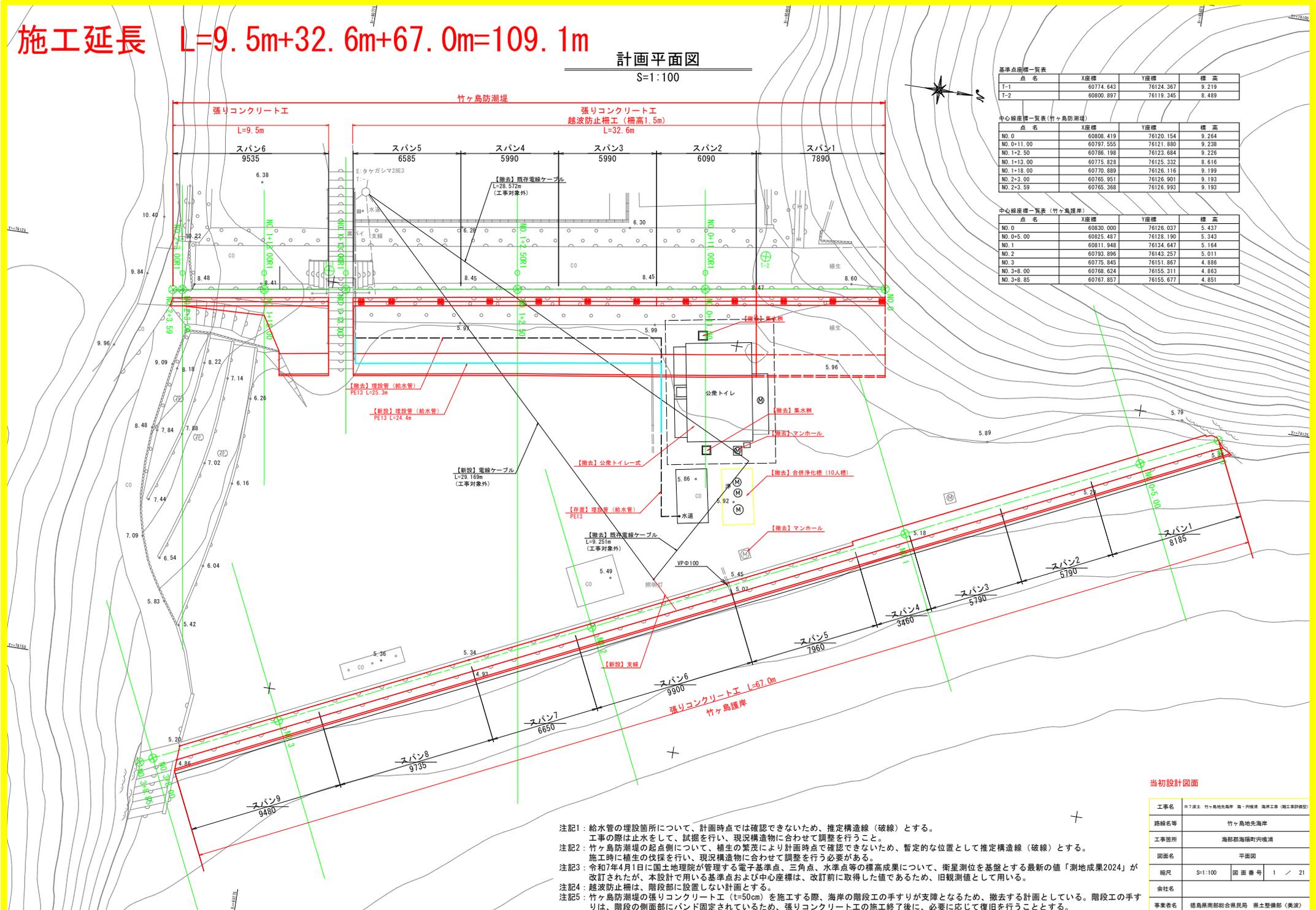


# 施工延長 $L=9.5m+32.6m+67.0m=109.1m$

## 計画平面図

S=1:100



基準点座標一覧表

点名	X座標	Y座標	標高
T-1	60774.643	76124.367	9.219
T-2	60800.897	76119.345	8.489

中心線座標一覧表(竹ヶ島防潮堤)

点名	X座標	Y座標	標高
NO.0	60808.419	76120.154	9.264
NO.0+11.00	60797.555	76121.800	9.238
NO.1+2.50	60786.198	76123.684	9.226
NO.1+13.00	60775.828	76125.332	8.616
NO.1+18.00	60770.889	76126.116	9.199
NO.2+3.00	60765.951	76126.901	9.193
NO.2+3.59	60765.368	76126.993	9.193

中心線座標一覧表(竹ヶ島護岸)

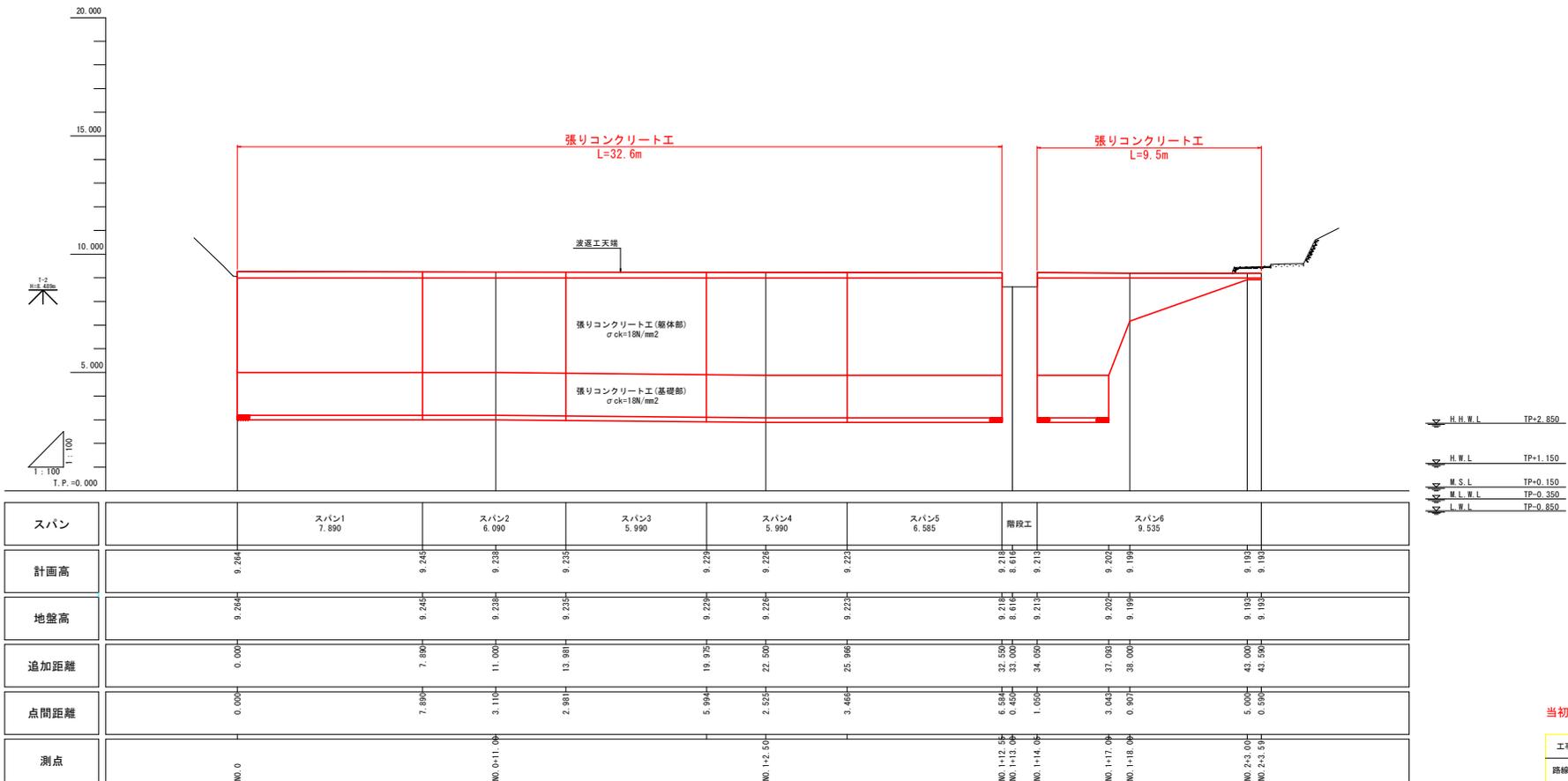
点名	X座標	Y座標	標高
NO.0	60830.000	76126.037	5.437
NO.0+5.00	60825.487	76128.190	5.343
NO.1	60811.948	76134.647	5.164
NO.2	60793.896	76143.257	5.011
NO.3	60775.845	76151.867	4.868
NO.3+8.00	60768.624	76155.311	4.863
NO.3+8.85	60767.857	76155.677	4.851

- 注記1: 給水管の埋設箇所について、計画時点では確認できないため、推定構造物(破線)とする。工事の際は止水をして、試掘を行い、現況構造物に合わせて調整を行うこと。
- 注記2: 竹ヶ島防潮堤の起点側について、植生の繁茂により計画時点で確認できないため、暫定的な位置として推定構造物(破線)とする。施工時に植生の伐採を行い、現況構造物に合わせて調整を行う必要がある。
- 注記3: 令和7年4月1日に国土地理院が管理する電子基準点、三角点、水準点等の標高成果について、衛星測位を基盤とする最新の値「測地成果2024」が改訂されたが、本設計で用いる基準点および中心線標は、改訂前に取得した値であるため、旧観測値として用いる。
- 注記4: 越波防止柵は、階段部に設置しない計画とする。
- 注記5: 竹ヶ島防潮堤の張りコンクリート工 (t=50cm) を施工する際、海岸の階段の手すりが必要となるため、撤去する計画としている。階段工の手すりは、階段の側面にバンド固定されているため、張りコンクリート工の施工終了後に、必要に応じて復旧を行うこととする。

### 当初設計図面

工事名	R7 深土 竹ヶ島地先海岸 高・防波堤 海岸工事 (概工事詳細図)
路線名等	竹ヶ島地先海岸
工事箇所	海部郡海陽町穴波浦
図面名	平面図
縮尺	S=1:100 図面番号 1 / 21
会社名	
事業者名	徳島県南総合振興局 農土整備部 (兼設)

縦断図(1) V=1:100  
H=1:100  
竹ヶ島防潮堤

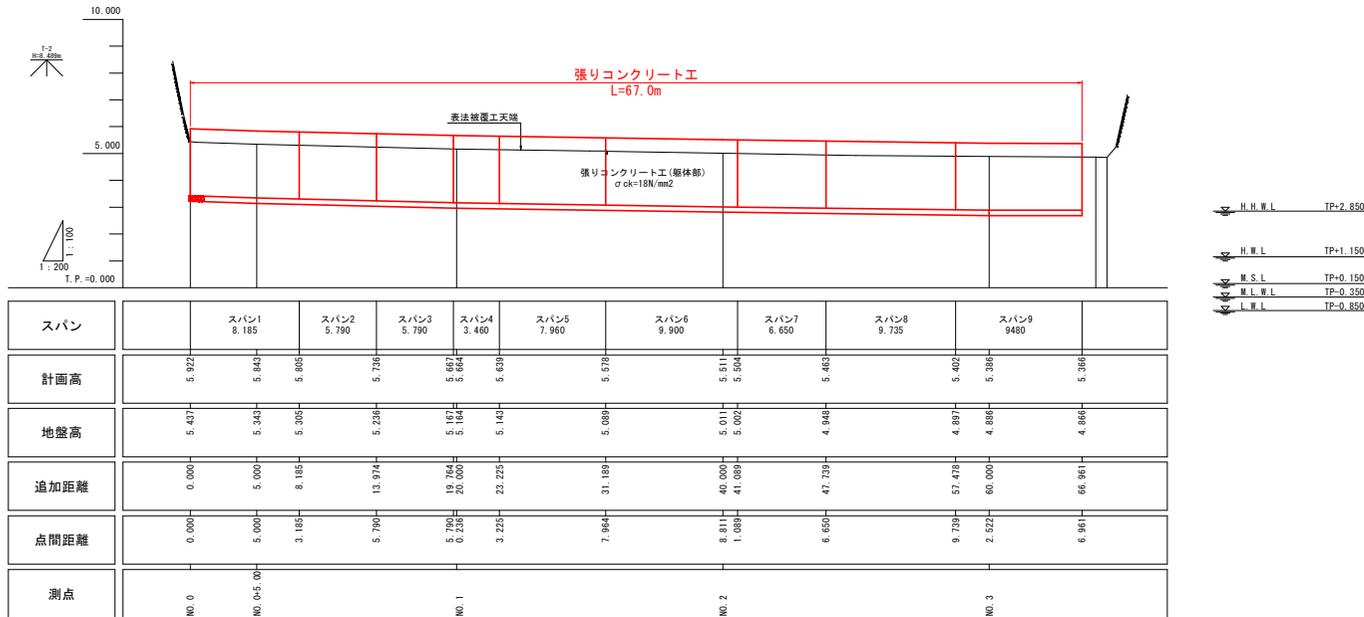


当初設計図面

工事名	R7 深工 竹ヶ島地先防潮堤 海・河堤防 海岸工事 (概工事詳細図)		
路線名等	竹ヶ島地先海岸		
工事箇所	海部郡海陽町穴波浦		
図面名	縦断図(1)		
縮尺	V=1:100 H=1:100	図面番号	2 / 21
会社名			
事業者名	徳島県南部総合振興局 農土整備部 (美波)		

注記1: 竹ヶ島防潮堤の起点側について、植生の繁茂により計画時点で確認できないため、暫定的な位置として推定構造線(破線)とする。  
施工時に植生の伐採を行い、現況構造物に合わせて調整を行う必要がある。  
注記2: 令和7年4月1日に国土地理院が管理する電子基準点、三角点、水準点等の標高成果について、衛星測位を基礎とする最新の値「測地成果2024」が改訂されたが、本設計で用いる基準点および中心座標は、改訂前に取得した値であるため、旧観測値として用いる。  
注記3: 越波防止柵は、階段部に設置しない計画とする。

縦断図(2) V=1:100  
H=1:200  
竹ヶ島護岸

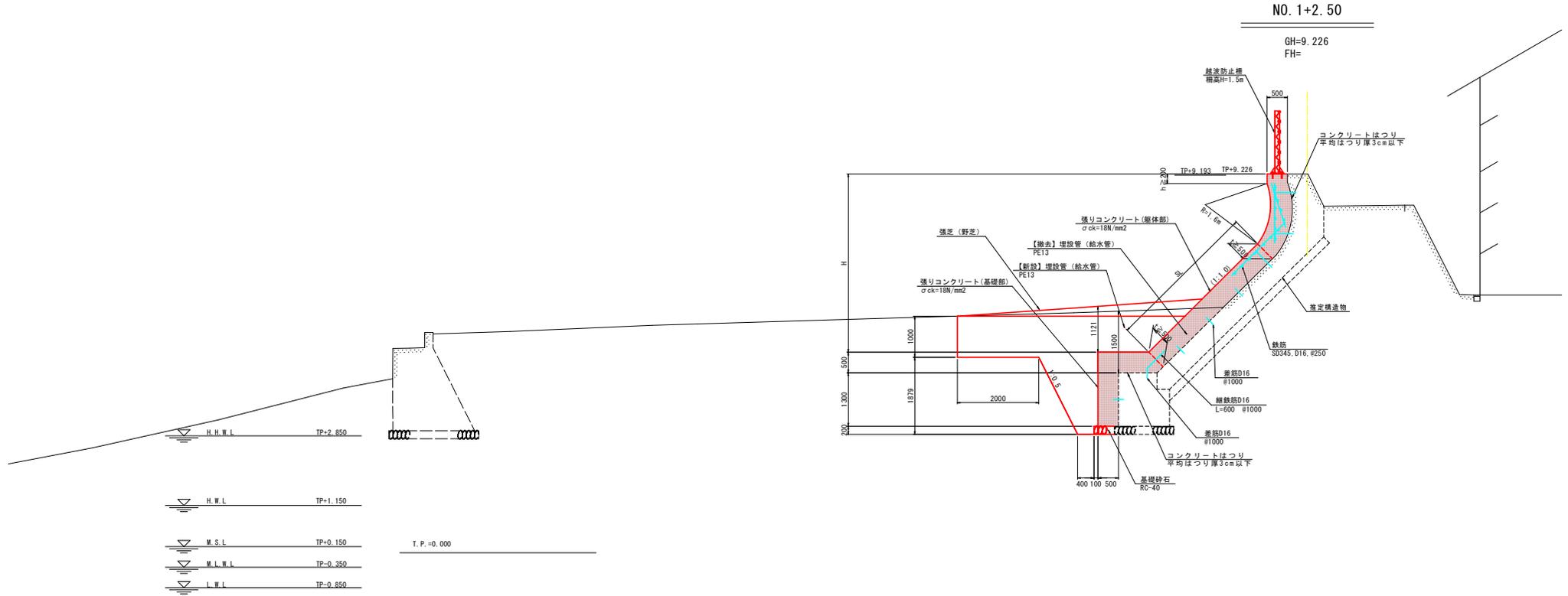


当初設計図面

工事名	R7線工 竹ヶ島地先護岸 海・河川港湾 海岸工事 (概工事詳細図)		
路線名等	竹ヶ島地先海岸		
工事箇所	海部郡海陽町穴波浦		
図面名	縦断図(2)		
縮尺	V=1:100 H=1:200	図面番号	3 / 21
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局 県土整備部 (美波)		

注記1: 令和7年4月1日に国土地理院が管理する電子基準点、三角点、水準点等の標高成果について、衛星測位を基盤とする最新の値「測地成果2024」が改訂されたが、本設計で用いる基準点および中心座標は、改訂前に取得した値であるため、旧観測値として用いる。

標準断面図(1) S=1:50  
竹ヶ島防潮堤



当初設計図面

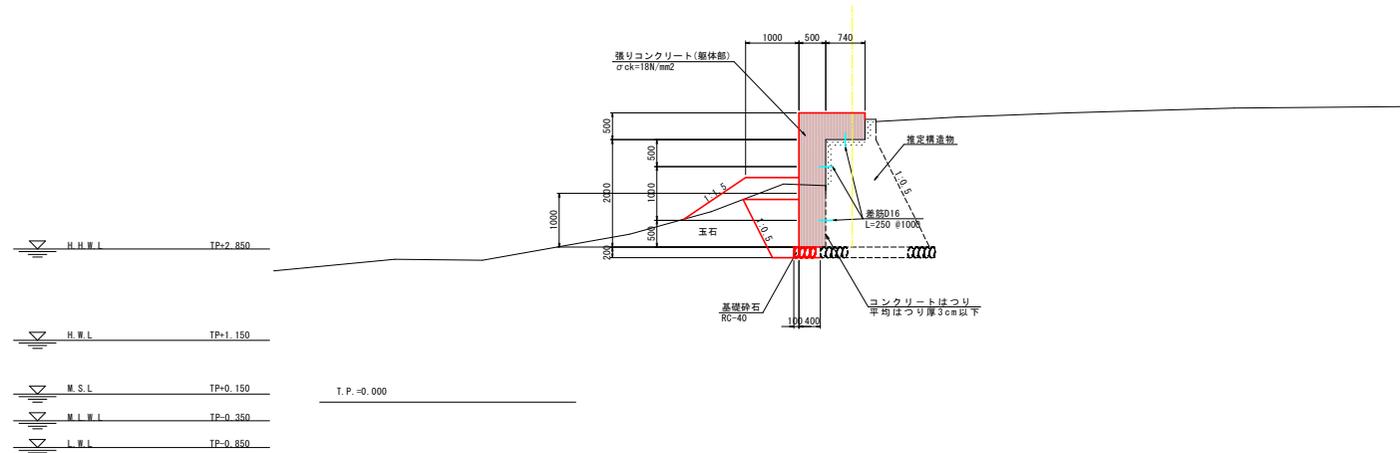
工事名	R7 深土 竹ヶ島地先防潮 海・河川 海岸工事 (概工率詳細版)		
路線名等	竹ヶ島地先海岸		
工事箇所	海部郡海陽町矢崎浦		
図面名	標準断面図(1)		
縮尺	S=1:50	図面番号	4 / 21
会社名			
事業者名	徳島県南部総合振興局 県土整備部 (美波)		

- 注記1: 令和7年4月1日に国土地理院が管理する電子基準点、三角点、水準点等の標高成果について、衛星測位を基盤とする最新の値「測地成果2024」が改訂されたが、本設計で用いる基準点および中心座標は、改訂前に取得した値であるため、旧観測値として用いる。
- 注記2: 地中部の構造物について、計画時点では確認できないため、推定構造線(破線)とする。  
施工時に現況構造物に合わせて調整を行う必要がある。また、数量等に変更が生じる場合は、監督員と調整を行うこと。
- 注記3: 給水管の埋設箇所について、計画時点では確認できないため、推定構造線(破線)とする。  
工事の際は止水をして、試掘を行い、現況構造物に合わせて調整を行うこと。
- 注記4: 表法被覆工の計画勾配は現況構造物に合わせて調整すること。
- 注記5: 張りコンクリート工の厚さは50cm以上とする。
- 注記6: 越波防止柵は、階段部に設置しない計画とする。

標準断面図(2) S=1:50  
竹ヶ島護岸

NO. 3

GH=4.886  
FH=

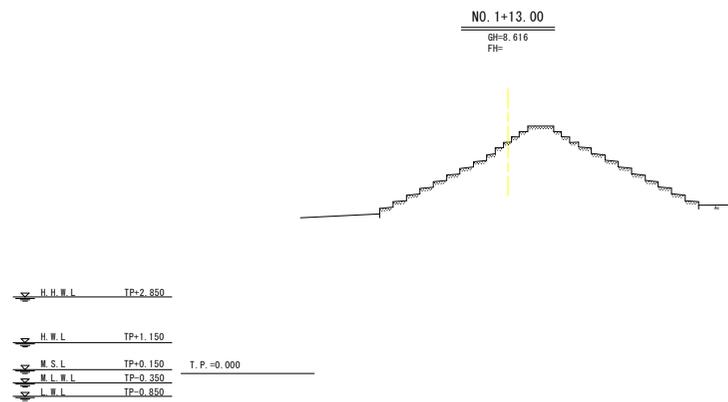
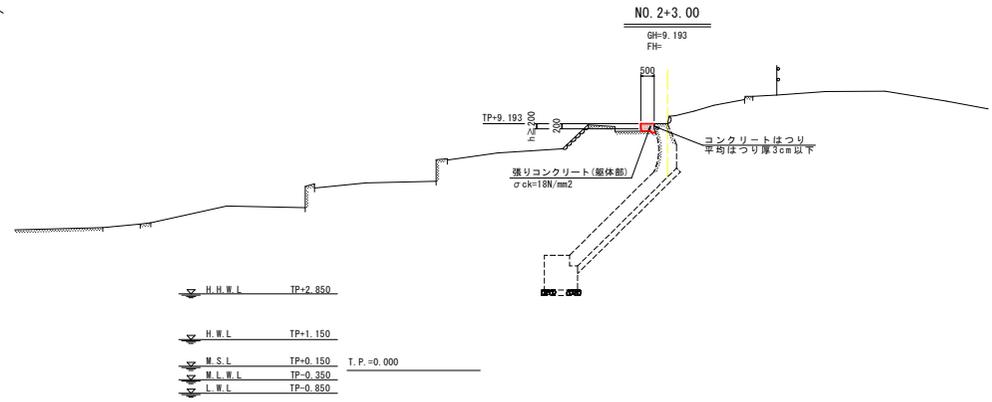
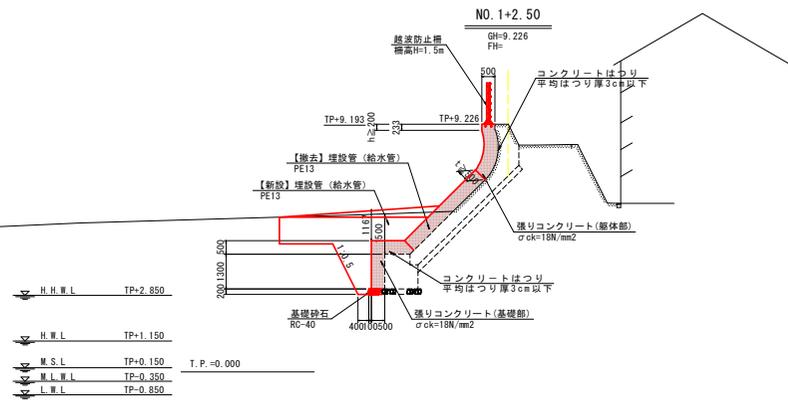
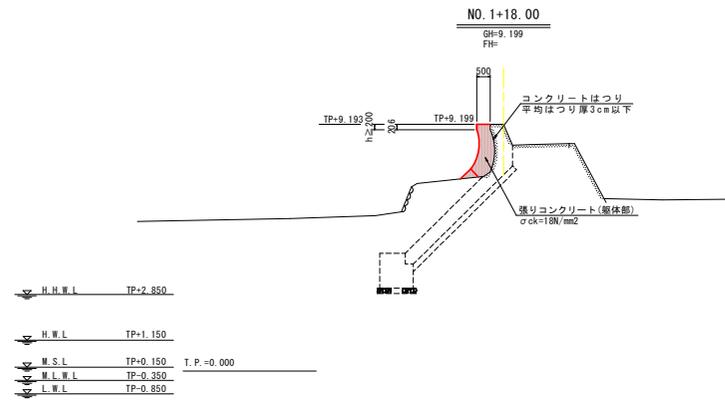
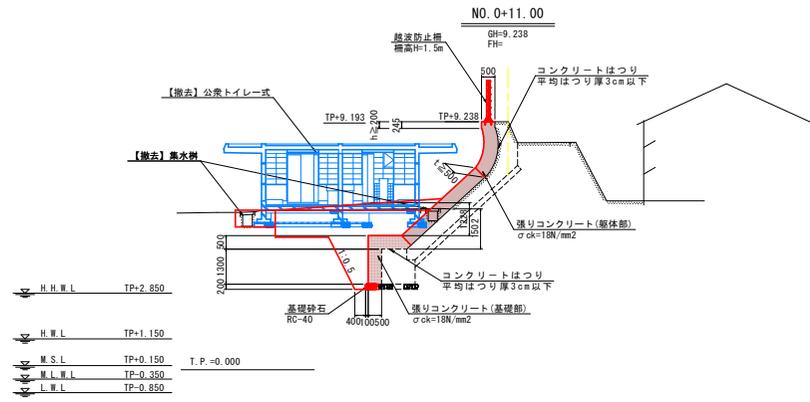


当初設計図面

工事名	R7 深土 竹ヶ島地先護岸 海・河川構 海岸工事 (概工率詳細版)		
路線名等	竹ヶ島地先護岸		
工事箇所	海部郡海陽町矢吹浦		
図面名	標準断面図(2)		
縮尺	S=1:50	図面番号	5 / 21
会社名			
事業者名	徳島県南部総合振興局 県土整備部(兼設)		

注記1：令和7年4月1日に国土地理院が管理する電子基準点、三角点、水準点等の標高成果について、衛星測位を基盤とする最新の値「測地成果2024」が改訂されたが、本設計で用いる基準点および中心座標は、改訂前に取得した値であるため、旧観測値として用いる。  
 注記2：地中部の構造については計画時点で確認できないため、推定構造線(破線)とする。  
 施工時に現況構造物に合わせて調整を行う必要がある。また、数量に変更が生じる場合は、必要に応じて監督員と調整を行うものとする。  
 注記3：張りコンクリート工の厚さは50cm以上とする。

# 横断図(1) S=1:100 竹ヶ島防潮堤



- 注記1: 令和7年4月1日に国土地理院が管理する電子基準点、三角点、水準点等の標高成果について、衛星測位を基盤とする最新の値「測地成果2024」が改訂されたが、本設計で用いる基準点および中心座標は、改訂前に取得した値であるため、旧観測値として用いる。
- 注記2: 地中部の構造物について、計画時点では確認できないため、推定構造線（破線）とする。施工時に現況構造物に合わせて調整を行う必要がある。また、数量等に変更が生じる場合は、監督員と調整を行うこと。
- 注記3: 給水管の埋設箇所について、計画時点では確認できないため、推定構造線（破線）とする。工事の際は止水をして、試掘を行い、現況構造物に合わせて調整を行うこと。
- 注記4: 竹ヶ島防潮堤の起点側について、植生の繁茂により計画時点で確認できないため、暫定的な位置として推定構造線（破線）とする。施工時に植生の伐採を行い、現況構造物に合わせて調整を行う必要がある。
- 注記5: 表法被覆工の計画勾配は現況構造物に合わせて調整すること。
- 注記6: 礫りコンクリート工の厚さは50cm以上とする。

## 当初設計図面

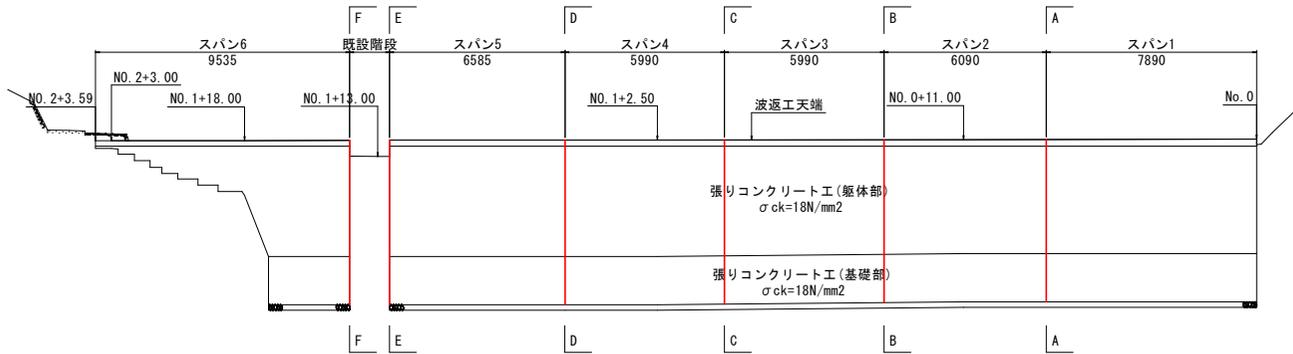
工事名	R7東工 竹ヶ島地先海岸 海・河川 海岸工事 (概工事項別表)		
路線名等	竹ヶ島地先海岸		
工事箇所	海部郡海陽町矢崎浦		
図面名	横断図(1)		
縮尺	S=1:100	図面番号	6 / 21
会社名			
事業者名	徳島県南部総合振興局 農土整備部 (兼設)		



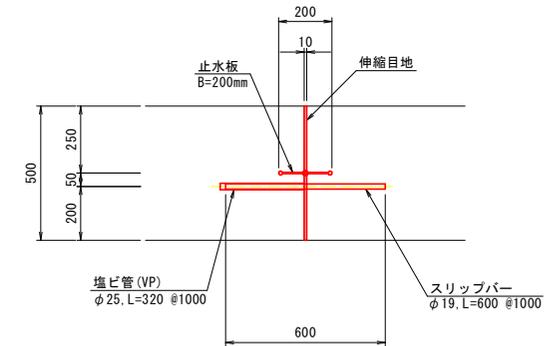
# 構造図 (1)

## 竹ヶ島防潮堤 (張りコンクリート工)

目地部割付図  
S=1:100

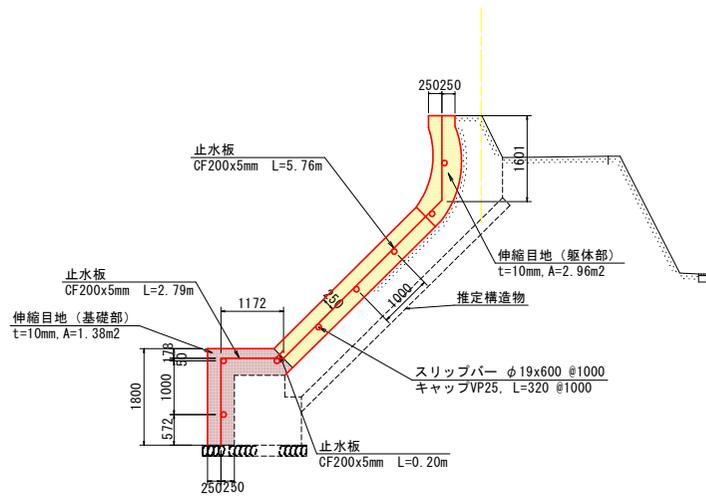


目地部詳細図  
S=1:10

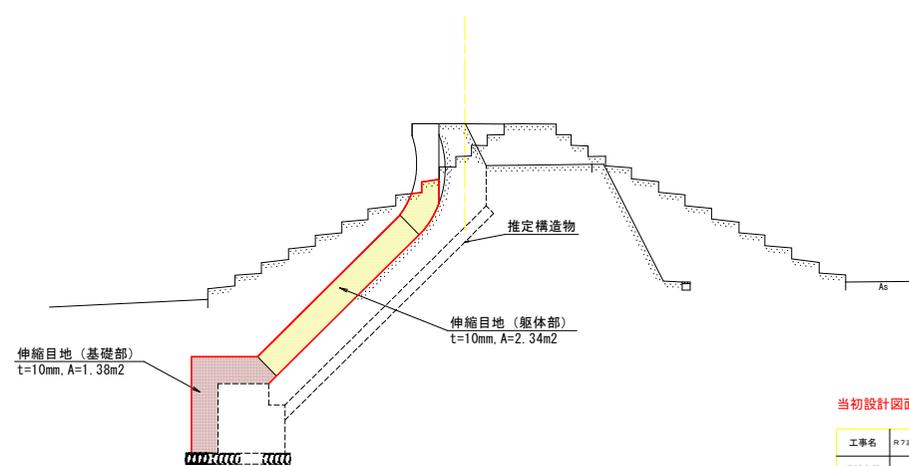


目地部詳細図  
S=1:50

A-A~D-D



E-E, F-F



当初設計図面

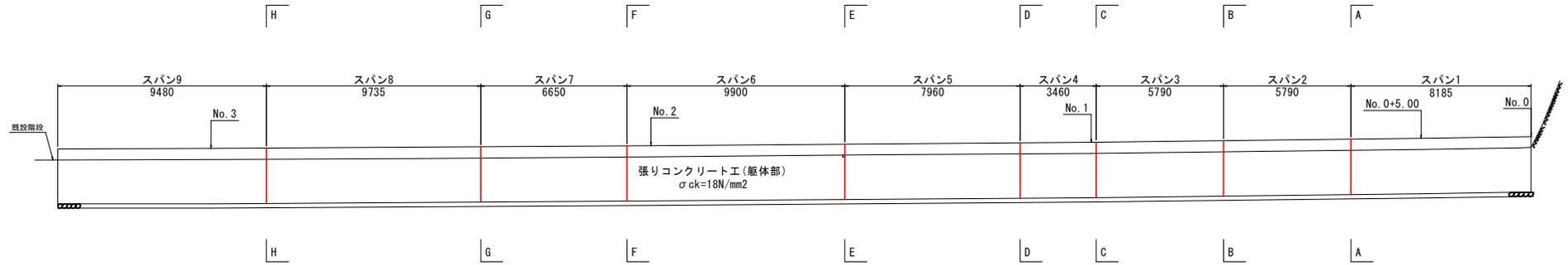
工事名	R7 原工 竹ヶ島地先防潮堤 海・河川港湾 海岸工事 (橋工事詳細部)		
路線名等	竹ヶ島地先海岸		
工事箇所	海部郡海陽町矢吹浦		
図面名	構造図 (1)		
縮尺	図示	図面番号	8 / 21
会社名			
事業者名	徳島県南部総合振興局 農土整備部 (兼設)		

注記1: 令和7年4月1日に国土地理院が管理する電子基準点、三角点、水準点等の標高成果について、衛星測位を基盤とする最新の値「測地成果2024」が改訂されたが、本設計で用いる基準点および中心座標は、改訂前に取得した値であるため、旧観測値として用いる。  
 注記2: 伸縮目地の設置位置は、原則表土工の既設構造物の施工目地に合わせるものとする。  
 なお、6~10mを超えないように設置することが望ましいことから、上記に示す配置計画としたが、現場条件に合わせて調整を行うこととする。

# 構造図 (2)

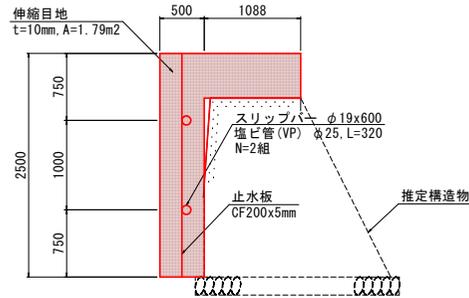
## 竹ヶ島護岸 (張りコンクリート工)

目地割付図  
S=1:100

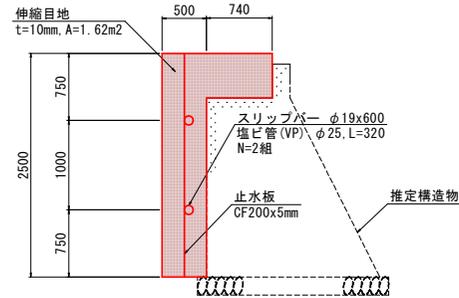


目地部詳細図  
S=1:30

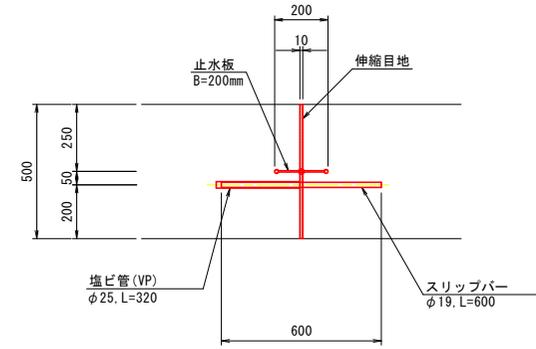
A-A~C-C



D-D~H-H



目地部詳細図  
S=1:10



当初設計図面

注記1: 令和7年4月1日に国土地理院が管理する電子基準点、三角点、水準点等の標高成果について、衛星測位を基盤とする最新の値「測地成果2024」が改訂されたが、本設計で用いる基準点および中心座標は、改訂前に取得した値であるため、旧観測値として用いる。

注記2: 伸縮目地の設置位置は、原則表法工の既設構造物の施工目地に合わせるものとする。  
なお、6~10mを超えないように設置することが望ましいことから、上記に示す配置計画としたが、現場条件に合わせて調整を行うこととする。

工事名	R7 護工 竹ヶ島地先護岸 海・河川構 海岸工事 (橋工事詳細部)		
路線名等	竹ヶ島地先護岸		
工事箇所	海部郡海陽町矢野浦		
図面名	構造図 (2)		
縮尺	図示	図面番号	9 / 21
会社名			
事業者名	徳島県南部総合振興局 県土整備部 (美波)		



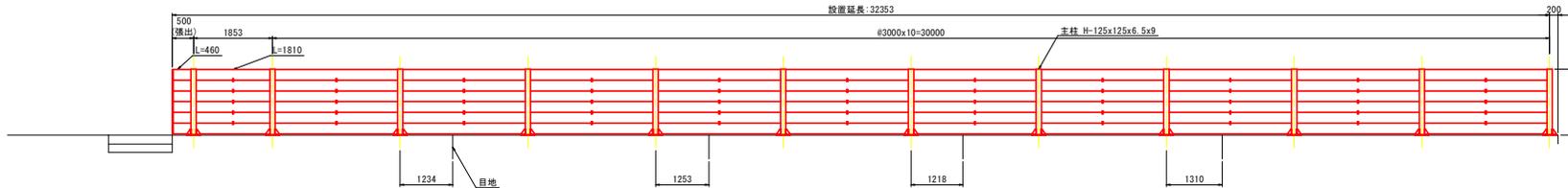
# 構造図 (4) S=1:60

竹ヶ島防潮堤  
(越波防止柵工)

平面割付図



正面図



数量表

※L=41.60m, 14スパン2連当たり

材料名	形状寸法	数量	単位	単位重量 (kg)	重量 (kg)	材料規格	表面処理
主柱	H-125x125x6.5x9 L= 1523	12	本	35.943	431.316	SS400	HZA50A
ベースプレート	t 12 x 325 x 325	12	枚	9.950	119.400	SS400	HZA50A
リブプレート	t 6 x 90 x 125	96	枚	0.530	50.880	SS400	HZA50A
強出アングル	L-65x65x6 L= 1500	1	本	8.865	8.865	SS400	HZA50A
補強アングル	L-65x65x6 L= 562.5	3	本	2.492	7.476	SS400	HZA50A
取付ボルト	M12x40 (1継止N・2冊付)	9	組	0.084	0.756	強度区分4.6相当	HZA36A
防波板70 #3000	14.5x250 L= 2960	60	枚	22.400	1344.000	SS400	HZA50A
防波板70 #1853	14.5x250 L= 1810	6	枚	13.697	82.182	SS400	HZA50A
防波板70 #500	14.5x250 L= 460	6	枚	3.481	20.886	SS400	HZA50A
取付ボルト	M12x40 (1継止N・2冊付)	288	組	0.084	24.192	強度区分4.6相当	HZA36A
巾止金具 (ツキツケ用)	12.3x25x65	110	枚	0.029	3.190	SPHC	HZA50A
取付ボルト	M8x25 (1継止N付)	110	組	0.020	2.200	強度区分4.6相当	HZA36A
アンカーボルト	M12x150 (2N・1アンカー用冊付)	48	組	0.158	7.584	SS400	HZA36A
樹脂カプセル	M12用	48	本	-	-	エポキシ樹脂	-
				総重量	2749.210		

当初設計図面

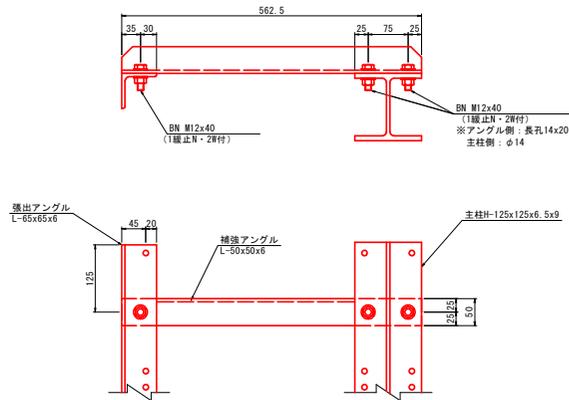
工事名	R7深工 竹ヶ島防潮堤 海・河川構 海岸工事 (構工事詳細図)		
路線名等	竹ヶ島防潮堤		
工事箇所	海部郡海陽町穴波浦		
図面名	構造図 (4)		
縮尺	S=1:60	図面番号	11 / 21
会社名			
事業者名	徳島県南部総合振興局 県土整備部 (美波)		

注記1: 鋼材及び部品類は溶融亜鉛アルミニウム合金めっき仕上げとする。  
 注記2: Lはパネル長を示す。  
 注記3: 特記無きパネル寸法はL=2960とする。  
 注記4: LEVEL

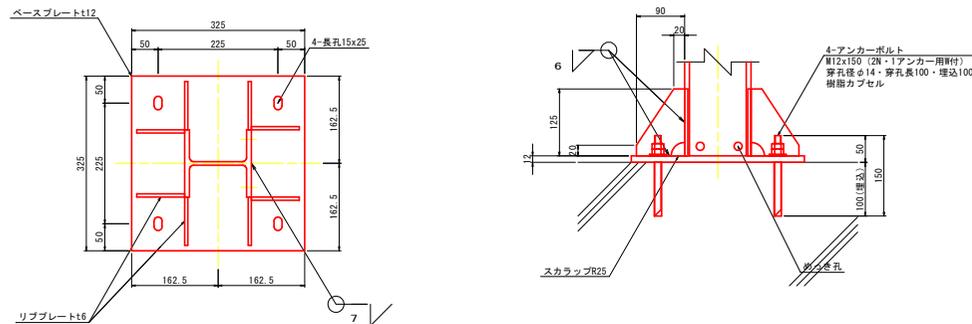
# 構造図 (5)

竹ヶ島防潮堤  
(越波防止柵工)

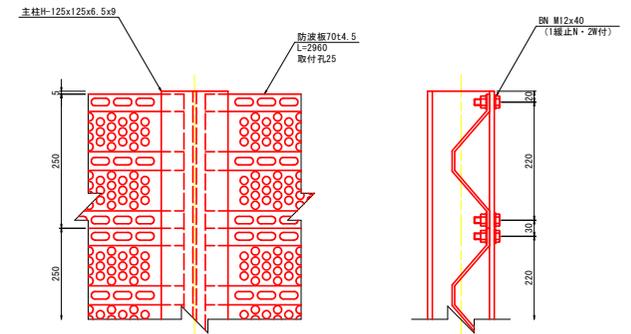
張出部詳細図 S=1:5



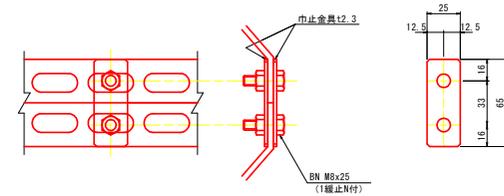
ベースプレート部詳細図 S=1:5



a部詳細図 S=1:5



巾止金具取付詳細図 S=1:2



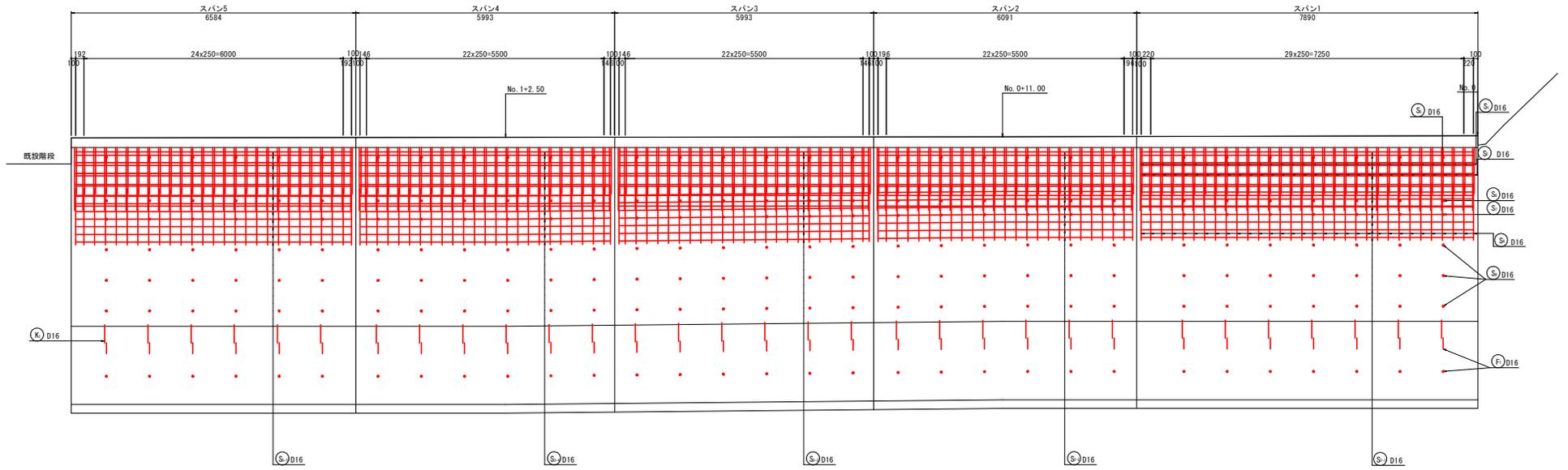
当初設計図面

工事名	R7 深工 竹ヶ島地先海岸 海・河川構 海岸工事 (概工率詳細版)		
路線名等	竹ヶ島地先海岸		
工事箇所	海部郡海陽町矢波浦		
図面名	構造図 (5)		
縮尺	図示	図面番号	12 / 21
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局 県土整備部 (兼設)		

注記：鋼材及び部品類は溶融亜鉛アルミニウム合金めっき仕上げとする。

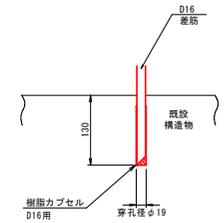
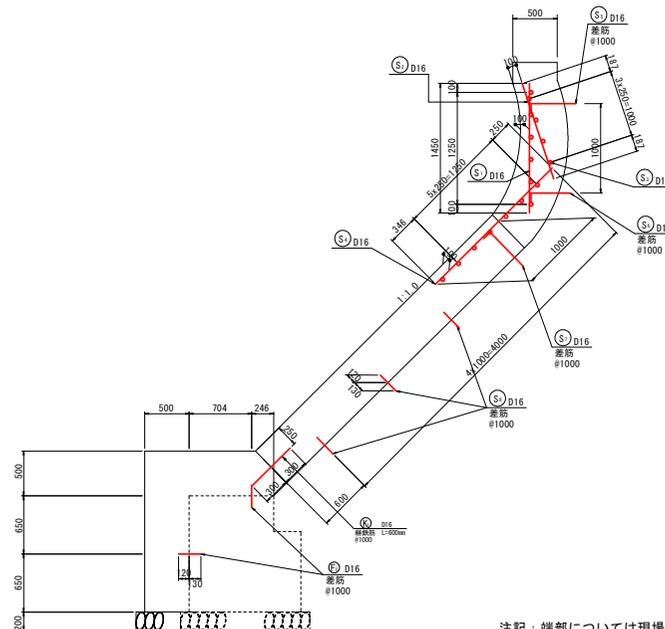
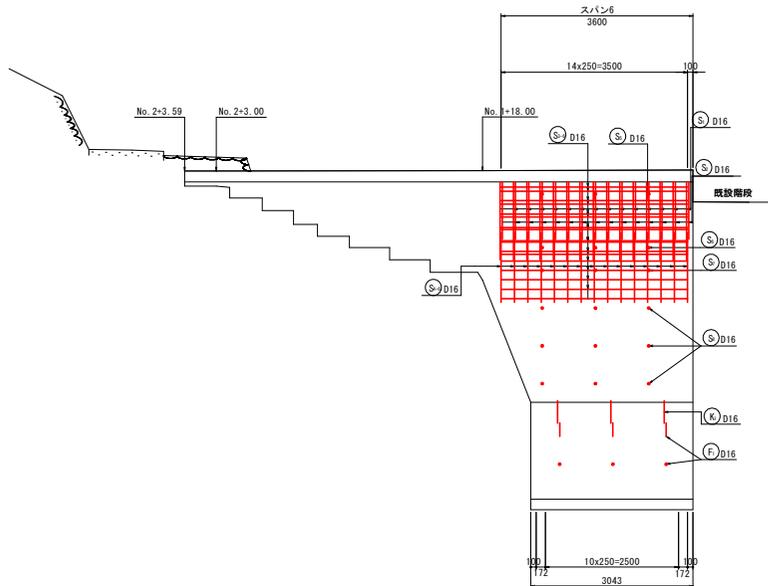
# 配筋図 (1) S=1:50

## 竹ヶ島防潮堤



断面図 S=1:30

差筋部詳細図 S=1:5



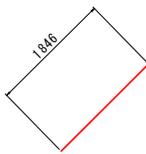
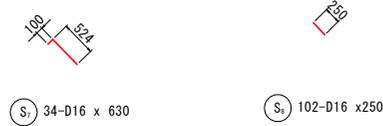
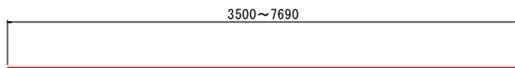
### 当初設計図面

工事名	R7 深土 竹ヶ島地先海岸 高・防波堤 海岸工事 (概工率詳細)		
路線名等	竹ヶ島地先海岸		
工事箇所	海部郡海陽町尖波浦		
図面名	配筋図 (1)	図面番号	13 / 21
縮尺	図示	図面番号	13 / 21
会社名	徳島県南総合県民局 県土整備部 (美波)		
事業者名	徳島県南総合県民局 県土整備部 (美波)		

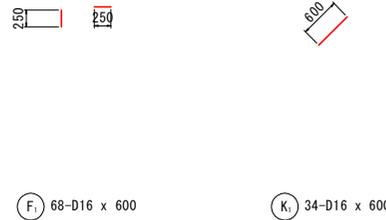
注記：端部については現場状況に応じて調整することとする。

# 配筋図 (2) S=1:40

竹ヶ島防潮堤



⑬ S<sub>7</sub> 149-D16 x 1850



鉄筋質量表

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
S <sub>1</sub>	D16	1450	149	1.56	2.26	337	
S <sub>2</sub>	D16	1130	149	1.56	1.76	262	↘
S <sub>3-1</sub>	D16	7690	17	1.56	12.00	204	=====
S <sub>3-2</sub>	D16	5900	17	1.56	9.20	156	=====
S <sub>3-3</sub>	D16	5800	17	1.56	9.05	154	=====
S <sub>3-4</sub>	D16	5800	17	1.56	9.05	154	=====
S <sub>3-5</sub>	D16	6390	17	1.56	9.97	169	=====
S <sub>3-6</sub>	D16	3500	17	1.56	5.19	88	=====
S <sub>4</sub>	D16	1850	149	1.56	2.89	430	↘
S <sub>5</sub>	D16	610	34	1.56	0.95	32	=====
S <sub>6</sub>	D16	540	34	1.56	0.84	29	=====
S <sub>7</sub>	D16	630	34	1.56	0.98	33	↘
S <sub>8</sub>	D16	250	102	1.56	0.39	40	↘
						2,088	kg
F <sub>1</sub>	D16	250	68	1.56	0.39	27	
K <sub>1</sub>	D16	600	34	1.56	0.94	32	↘
						59	kg
(S0345)							
合 計				2.147	kg		
総質量				2.147	kg		

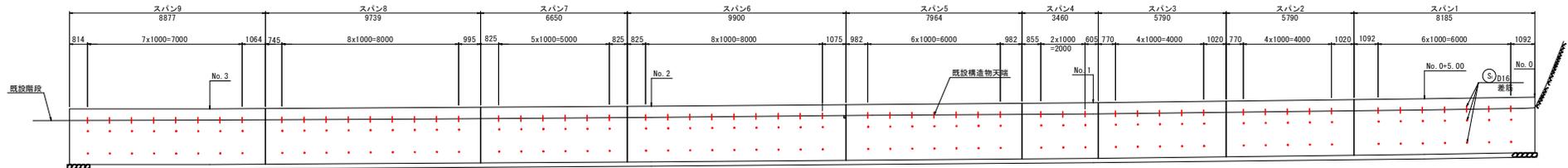
当初設計図面

工事名	R7線工 竹ヶ島地先海岸 海・河堤岸 海岸工事 (橋工事詳細部)		
路線名等	竹ヶ島地先海岸		
工事箇所	海部郡海陽町矢吹浦		
図面名	配筋図 (2)		
縮尺	S=1:40	図面番号	14 / 21
会社名			
事業者名	徳島県南部総合振興局 県土整備部 (兼設)		

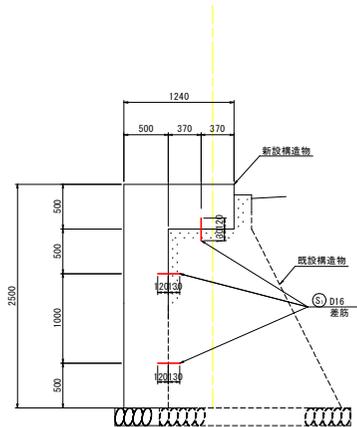
# 配筋図 (3)

竹ヶ島護岸

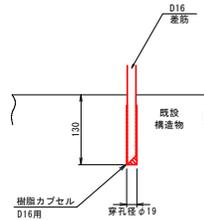
正面図  
S=1:100



断面図 S=1:30  
標準部



差筋部詳細図  
S=1:5



Ⓢ 177-D16 x 250

鉄筋質量表

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
S <sub>1</sub>	D16	250	177	1.56	0.39	69	—
						69 kg	
(SD345)							
合計			69 kg				
総重量			69 kg				

当初設計図面

工事名	R7線工 竹ヶ島地先護岸 海・河川構 海岸工事 (概工率詳細)		
路線名等	竹ヶ島地先護岸		
工事箇所	海部郡海陽町矢崎浦		
図面名	配筋図 (3)		
縮尺	図示	図面番号	15 / 21
会社名			
事業者名	徳島県南部総合振興局 県土整備部 (美波)		

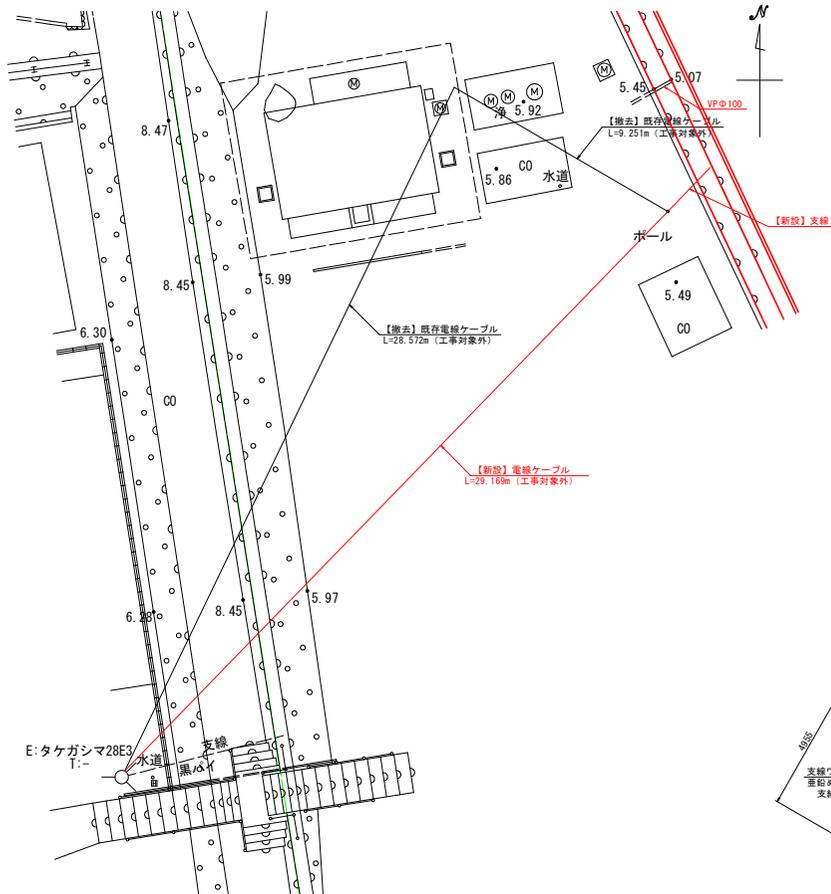
注記1: 配筋図は既存施設の状況により調整を行うこと。  
 注記2: 地中部の構造については計画時点で確認できないため、推定構造線(破線)とする。  
 施工時に現況構造物に合わせて調整を行う必要がある。また、数量に変更が生じる場合は、必要に応じて監督員と調整を行うものとする。



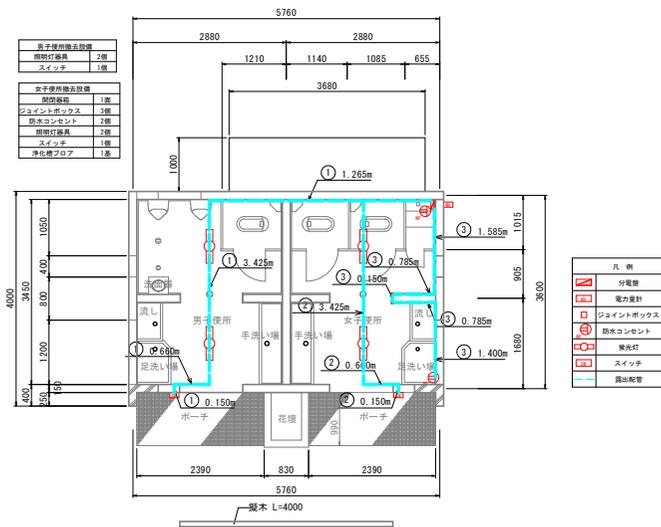


# 附帯構造物解体図（電気設備）

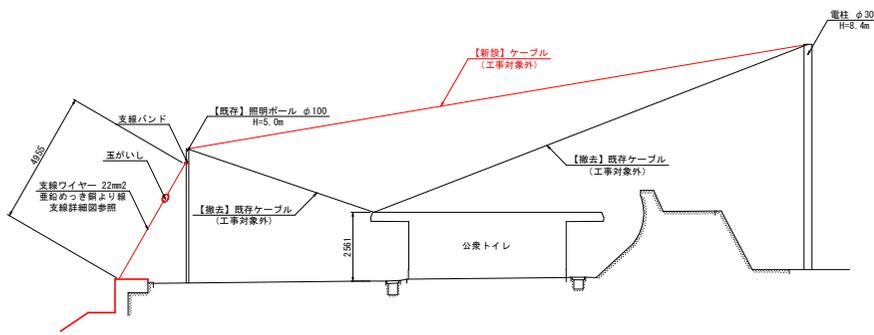
平面図 1:100



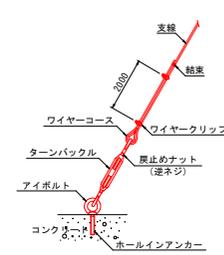
電気設備平面図 1:50



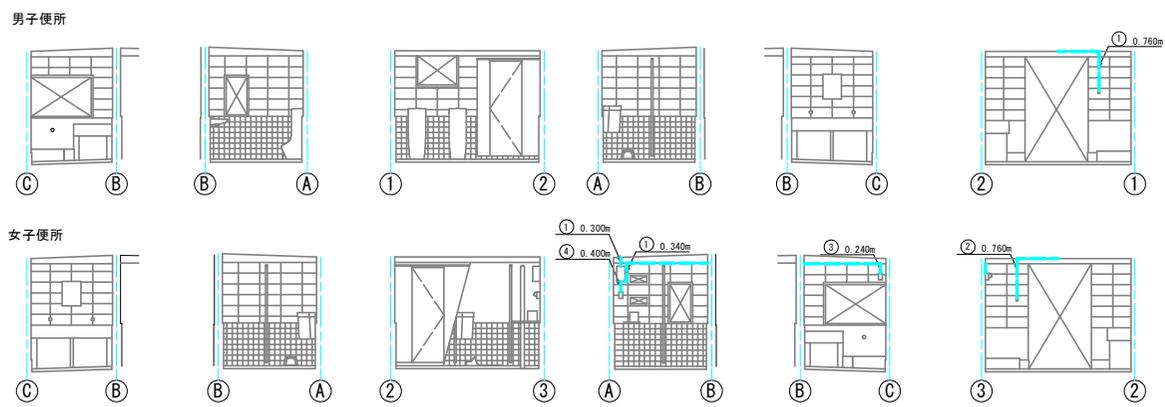
横断面 1:100



支線詳細図



展開図 1:50



当初設計図面

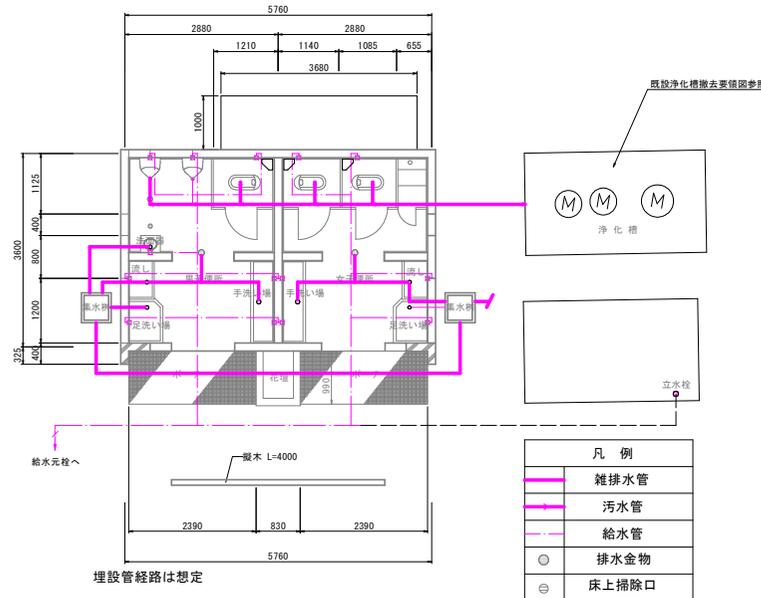
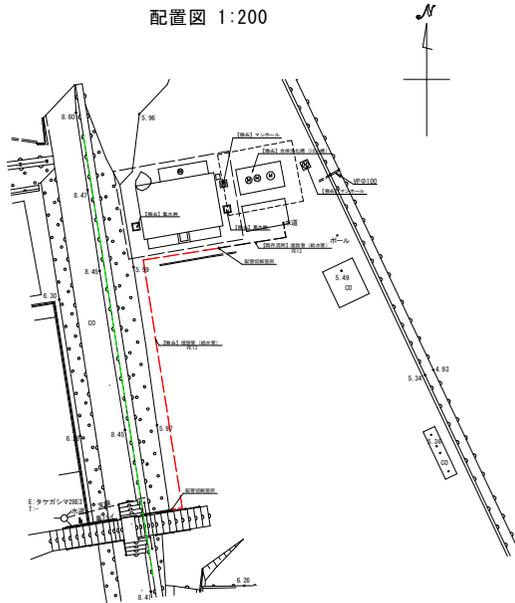
工事名	R7深土 竹ヶ島地先海岸 海・河湾岸 海岸工事 (補工事項)
路線名等	竹ヶ島地先海岸
工事箇所	海部郡海陽町矢崎浦
図面名	附帯構造物解体図 (電気設備)
縮尺	図示 図面番号 18 / 21
会社名	
事業者名	徳島県南部総合振興局 農土整備部 (委託)

特記事項  
 1. 本図面は参考とし、工事着手前に現地調査を行うこと。  
 2. 配管経路は露出部のみの確認であるため、現地で確認を行うこと。  
 3. 架空線の撤去工事及び新設工事については、四面電力が行うため協議を行うこと。

# 附帯構造物解体図（機械設備）

衛生設備平面図 1:50

配置図 1:200

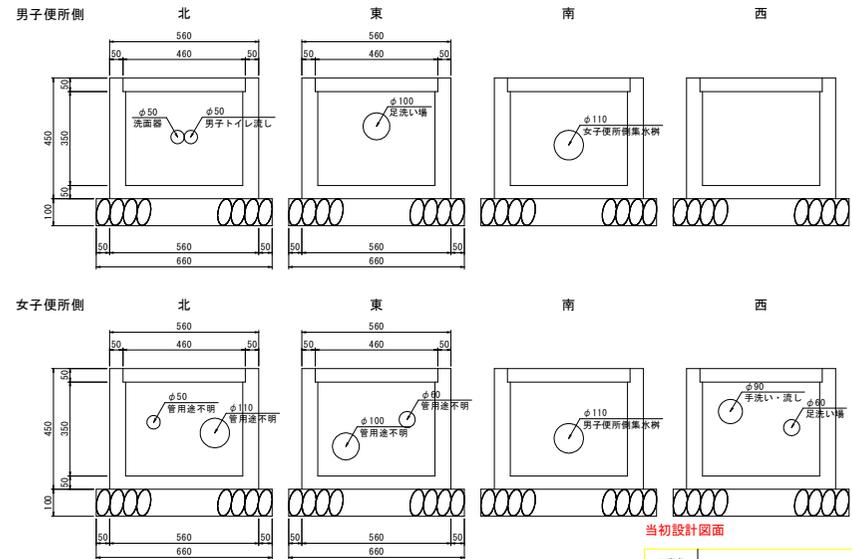


小便器	2基
和式便器	1基
ロータンク	1基
洗面器	1基
化粧鏡	1枚
水栓	5個
排水金物	4個
掃除口	2個

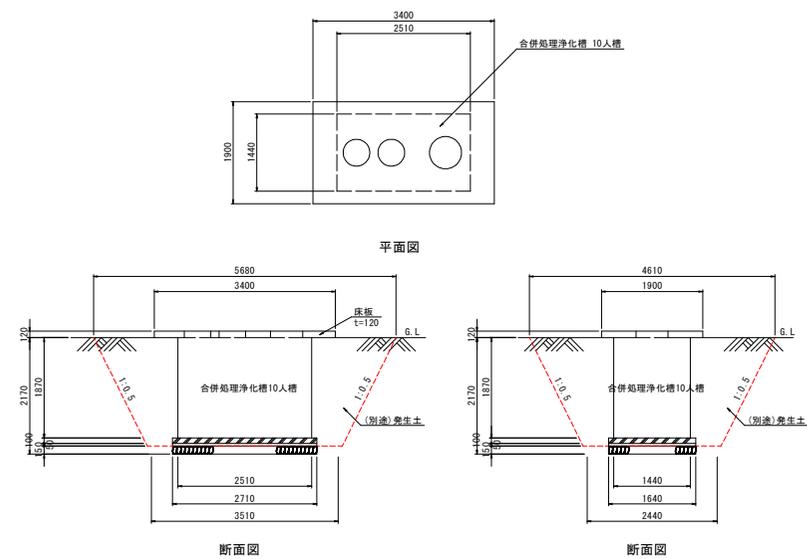
和式便器	2基
タンク	2基
化粧鏡	1枚
水栓	4個
排水金物	4個
臭突管	1本
L=1.92m φ70	

	雑排水管
	汚水管
	給水管
	排水金物
	床上掃除口

集水樹展開図 S=1:10



既設浄化槽撤去要領図 1:50



- 既設浄化槽解体手順
- 浄化槽の廃止届提出
  - 汚水全量汲み取り（水洗い消毒共）
  - 本体撤去（内部配管類・ろ材撤去）
  - 浄化槽スラブ及び床板解体撤去
  - 撤去後発生土による埋戻し・締固め

地中部分は想定形状、想定寸法を表示

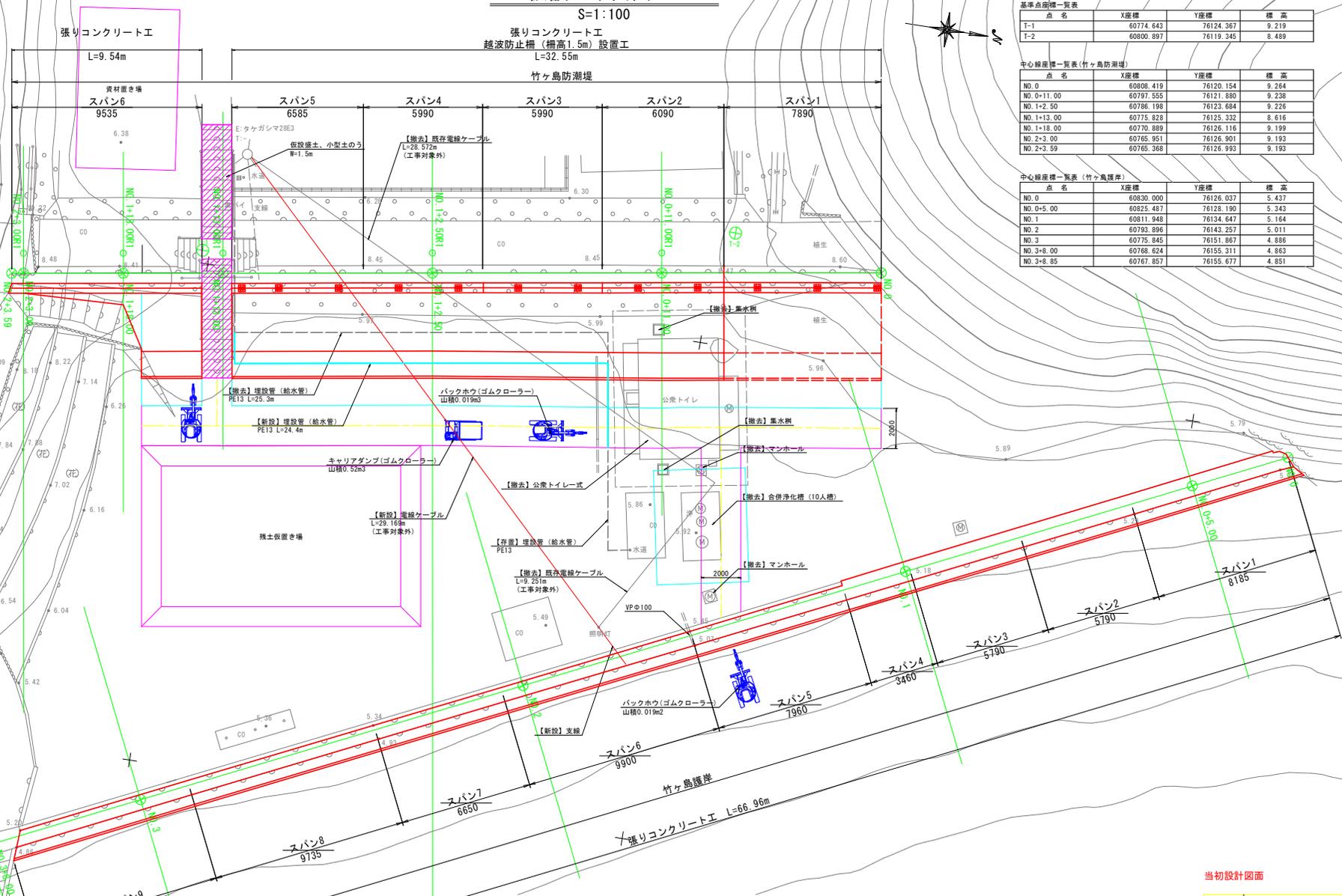
- 特記事項
- 本図面は参考とし、工事着手前に現地調査を行うこと。
  - 埋設管経路及び延長等は想定であるため、現地で確認を行うこと。
  - 浄化槽の形状及び寸法は想定であるため、現地で確認を行うこと。

工事名	R7 深土 竹ヶ島地先海岸 南・西側溝 海岸工事（機工事務課担当）
路線名等	竹ヶ島地先海岸
工事箇所	海部郡海陽町穴波浦
図面名	附帯構造物解体図（機械設備）
縮尺	図示 図面番号 19 / 21
会社名	
事業者名	徳島県南部総合振興局 農土整備部（兼設）

# 仮設工平面図

S=1:100

張りコンクリート工  
越波防止柵 (柵高1.5m) 設置工  
L=32.55m



基準点座標一覧表

点名	X座標	Y座標	標高
T-1	60774.643	76124.367	9.219
T-2	60800.897	76119.245	8.489

中心線座標一覧表 (竹ヶ島防潮堤)

点名	X座標	Y座標	標高
NO.0	60808.419	76120.154	9.264
NO.0+11.00	60797.555	76121.800	9.238
NO.1+2.50	60786.198	76123.684	9.226
NO.1+13.00	60775.828	76125.332	8.616
NO.1+18.00	60770.889	76126.116	9.199
NO.2+3.00	60765.951	76126.901	9.193
NO.2+3.59	60765.368	76126.993	9.193

中心線座標一覧表 (竹ヶ島護岸)

点名	X座標	Y座標	標高
NO.0	60830.000	76126.037	5.437
NO.0+5.00	60825.487	76128.190	5.243
NO.1	60811.948	76134.647	5.164
NO.2	60793.896	76143.257	5.011
NO.3	60775.845	76151.867	4.868
NO.3+8.00	60768.624	76155.311	4.863
NO.3+8.85	60767.857	76155.677	4.851

- 注記1: 令和7年4月1日に国土地理院が管理する電子基準点、三角点、水準点等の標高成果について、衛星測位を基盤とする最新の値「測地成果2024」が改訂されたが、本設計で用いる基準点および中心座標は、改訂前に取得した値であるため、旧観測値として用いる。
- 注記2: 工事箇所にかかる連絡通路は道幅が狭く、大型重機の搬入が困難であるため、資材の搬入は小運搬にて行う計画とする。
- 注記3: 地中部の構造物について、計画時点では確認できないため、推定構造物 (破線) とする。施工時に現況構造物に合わせて調整を行う必要がある。また、数量等に変更が生じる場合は、監督員と調整を行うこと。
- 注記4: 給水管の埋設箇所について、計画時点では確認できないため、推定構造物 (破線) とする。工事の際は止水をして、試掘を行い、現況構造物に合わせて調整を行うこと。
- 注記5: 竹ヶ島防潮堤の起点側について、植生の繁茂により計画時点で確認できないため、暫定的な位置として推定構造物 (破線) とする。施工時に植生の伐採を行い、現況構造物に合わせて調整を行う必要がある。
- 注記6: 現場発生品は適切な方法で、処分、運搬を行うこと。
- 注記7: 上記の施工計画案が難しい場合は、工事着手前に監督員と調整を行うこと。

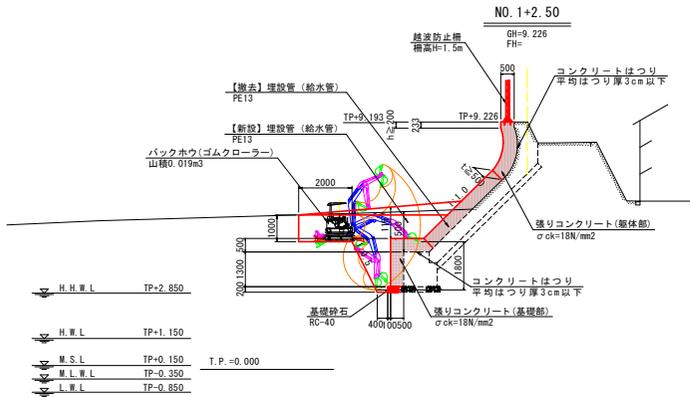
当初設計図面

工事名	R7護岸 竹ヶ島地先護岸 函・内堤岸 海岸工事 (概工事項別記)		
路線名等	竹ヶ島地先海岸		
工事箇所	海部郡海陽町内堤岸		
図面名	仮設工平面図		
縮尺	S=1:100	図面番号	20 / 21
会社名			
事業者名	徳島県南部総合振興局 農土整備部 (兼設)		

# 仮設工詳細図

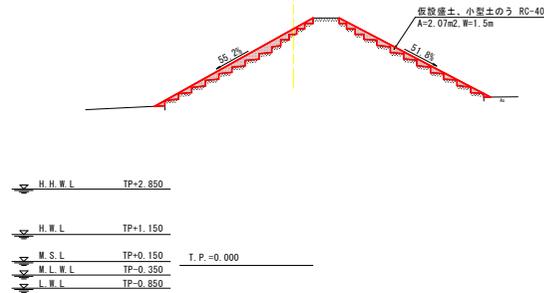
仮設工断面図

竹ヶ島防潮堤  
S=1:100



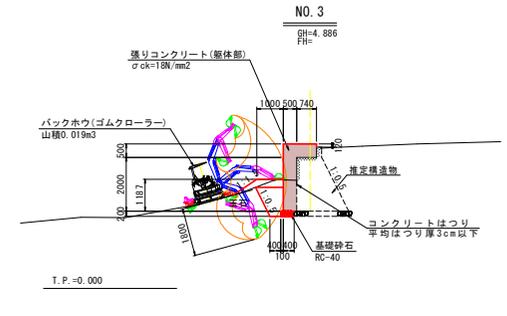
NO. 1+13.00

GH=8.616  
FH=



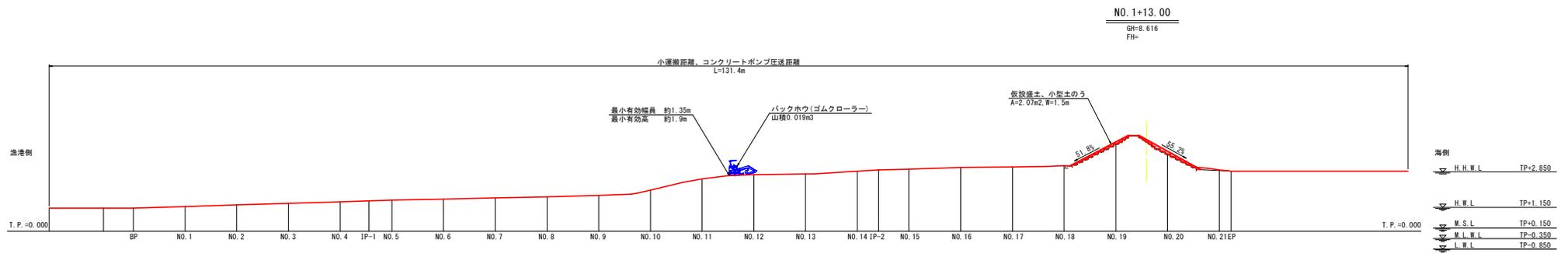
仮設工断面図

竹ヶ島護岸  
S=1:100



仮設工縦断面図

S=1:200



- 注記1：令和7年4月1日に国土地理院が管理する電子基準点、三角点、水準点等の標高成果について、衛星測位を基盤とする最新の値「測地成果2024」が改訂されたが、本設計で用いる基準点および中心座標は、改訂前に取得した値であるため、旧観測値として用いる。
- 注記2：漁港の物揚場および防潮堤の裏側の空地を資材置き場とする。
- 注記3：工事箇所にかかる連絡通路は道幅が狭く、大型重機の搬入が困難であるため、資材の搬入は小運搬にて行う計画とする。
- 注記4：地中部の構造物について、計画時点では確認できないため、推定構造線（破線）とする。
- 注記5：給水管の埋設箇所について、計画時点では確認できないため、推定構造線（破線）とする。
- 注記6：竹ヶ島防潮堤の起点側について、植生の繁茂により計画時点で確認できないため、暫定的な位置として推定構造線（破線）とする。
- 注記7：現場発生品は適切な方法で、処分、運搬を行うこと。
- 注記8：上記の施工計画が難しい場合は、工事着手前に監督員と調整を行うこと。

当初設計図面

工事名	R7 深土 竹ヶ島地先海岸 海・河川護岸 海岸工事 (概工事詳細図)		
路線名等	竹ヶ島地先海岸		
工事箇所	海部郡海陽町穴喰浦		
図面名	仮設工詳細図		
縮尺	図示	図面番号	21 / 21
会社名			
事業者名	徳島県南部総合振興局 農土整備部 (委託)		